

# 平成25年度 財政状況資料集

## 総括表（市町村）

都道府県名	香川県		市町村類型	II-O	指定団体等の指定状況		区分		平成25年度(千円)	平成24年度(千円)	区分		平成25年度(千円・%)	平成24年度(千円・%)			
					財政健全化等	×	歳入総額	30,807,214			29,979,085	実質収支比率			5.4	3.9	
市町村名	三豊市		地方交付税種地	1-2	財源超過	×	歳入総額	28,900,349	27,808,738	経常収支比率	86.1	86.4	(90.1)	(92.8)			
					首都	×	歳入歳出差引	1,906,865	2,170,347	(※1)							
					近畿	×	翌年度に繰越すべき財源	799,687	1,373,259	標準財政規模	20,654,046	20,521,558					
					中部	×	実質収支	1,107,178	797,088	財政力指数	0.50	0.49					
人口	22年国調(人)	68,512	産業構造(※5)		過疎	×	単年度収支	310,090	-502,097	公債費負担比率	12.5	12.8					
	17年国調(人)	71,180			山振	×	積立金	426,082	831,967	健全化判断比率							
	増減率(%)	-3.7			低開発	○	積立金取崩し額	-	-	実質赤字比率							
住民基本台帳人口(※6)	26.01.01(人)	69,437	第1次	22年国調	4,274	17年国調	5,626	低開発	○	積立金取崩し額	-	-	連結実質赤字比率				
	うち日本人(人)	68,871		指数表選定	○	実質単年度収支	736,172	329,870	実質公債費比率	7.1	7.9						
	25.03.31(人)	69,801	第2次					基準財政収入額	6,789,530	6,847,335	資金不足比率(※4)						
	うち日本人(人)	69,278						基準財政需要額	13,481,430	13,436,459							
	増減率(%)	-0.5						標準税収入額等	8,725,952	8,790,194							
うち日本人(%)	-0.6	第3次					経常経費充当一般財源等	17,431,155	17,658,887								
							歳入一般財源等	22,762,933	23,101,388								
面積(km <sup>2</sup> )	222.66																
人口密度(人/km <sup>2</sup> )	308																
世帯数(世帯)	22,871																
職員の状況																	
特別職等	区分	定数	1人あたり平均給料月額(百円)	区分	職員数(人)	給料月額(百円)	1人あたり平均給料月額(百円)	地方債現在高	25,399,302	26,069,793	うち公的資金	18,507,243	19,008,790				
	市区町村長	1	8,330	一般職員	498	1,590,612	3,194	債務負担行為額(支出予定額)	333,643	404,716							
	副市区町村長	1	6,670	うち消防職員	-	-	-	収益事業収入	8,892	8,138							
	教育長	1	6,110	うち技能労務職員	58	178,060	3,070	土地開発基金現在高	1,116,458	1,258,794							
	議会議長	1	5,040	教育公務員	82	252,478	3,079	積立金現在高	7,906,979	7,480,897							
	議会副議長	1	4,390	臨時職員	-	-	-	財政調整基金	384,032	383,452							
	議会議員	20	4,070	合計	580	1,843,090	3,178	減債基金	7,321,655	6,749,629							
				ラสบイレス指数			93.6	その他特定目的基金									
	一一般会計等の一覧																
	項番	会計名	事業会計の一覧	項番	会計名	公営企業(法適)の一覧	項番	会計名	公営企業(法非適)の一覧	項番	会計名	関係する一部事務組合等一覧	項番	組合等名	地方公社・第三セクター等一覧	項番	団体名
(1)	一般会計	(2)	国民健康保険事業特別会計	(7)	水道事業会計	(9)	集落排水事業特別会計	(12)	三観広域行政組合(一般会計)	(21)	三豊市土地開発公社	○					
		(3)	国民健康保険診療所事業特別会計	(8)	病院事業会計	(10)	浄化槽整備推進事業特別会計	(13)	三観広域行政組合(電子計算センター)	(22)	株式会社みの						
		(4)	後期高齢者医療事業特別会計			(11)	港湾整備事業特別会計	(14)	三豊総合病院企業団	(23)	株式会社たからだの里						
		(5)	介護保険事業特別会計					(15)	三豊市観音寺市学校組合	(24)	財団法人三豊健康づくり財団						
		(6)	介護サービス事業特別会計					(16)	三観衛生組合	(25)	財団法人三豊市国際交流協会						
								(17)	香川県中部広域競艇事業組合								
								(18)	香川県市町総合事務組合								
								(19)	香川県後期高齢者医療広域連合(一般会計)								
								(20)	香川県後期高齢者医療広域連合(後期高齢者医療事業)								

(注釈) ※1: 経常収支比率の( )内の数値は、「減収補償(特例分)」及び「臨時財政対策債」を除いて算出したものである。  
 ※2: 各会計の一覧は主な会計(10会計まで)を記載している。  
 ※3: 地方公共団体が損失補填等を行っている出資法人で、健全化法の算出対象となっている団体については、「地方公社・第三セクター等」の団体名に○印を付与している。  
 ※4: 資金不足比率欄には、資金が不足している会計のみ記載している。  
 ※5: 産業構造の比率は、分母を就業人口総数とし、平成22年国調は分類不能の産業を除き、平成17年国調は分類不能の産業を含んでいる。  
 ※6: 住民基本台帳関係年報の調査基準日変更に伴い、平成25年度の住民基本台帳人口については、平成26年1月1日現在の住民基本台帳に記載されている人口を記載している。

(1) 普通会計の状況(市町村)

歳入の状況(単位:千円・%)				地方税の状況(単位:千円・%)				
区分	決算額	構成比	経常一般財源等	構成比	区分	収入済額	構成比	超過課税分
地方税	7,578,362	24.6	7,578,362	39.2	普通税	7,573,135	99.9	68,447
地方譲与税	311,011	1.0	311,011	1.6	法定普通税	7,573,135	99.9	68,447
利子割交付金	25,925	0.1	25,925	0.1	市町村民税	3,291,232	43.4	68,447
配当割交付金	39,069	0.1	39,069	0.2	個人均等割	99,602	1.3	-
株式等譲渡所得割交付金	58,845	0.2	58,845	0.3	所得割	2,535,388	33.5	-
地方消費税交付金	610,400	2.0	610,400	3.2	法人均等割	145,979	1.9	-
ゴルフ場利用税交付金	54,997	0.2	54,997	0.3	法人税割	510,263	6.7	68,447
特別地方消費税交付金	-	-	-	-	固定資産税	3,668,863	48.4	-
自動車取得税交付金	92,259	0.3	92,259	0.5	うち純固定資産税	3,668,139	48.4	-
軽油引取税交付金	-	-	-	-	軽自動車税	201,260	2.7	-
地方特例交付金	23,288	0.1	23,288	0.1	市町村たばこ税	411,780	5.4	-
地方交付税	11,667,704	37.9	10,513,136	54.4	鉱産税	-	-	-
普通交付税	10,513,136	34.1	10,513,136	54.4	特別土地保有税	-	-	-
特別交付税	1,154,565	3.7	-	-	法定外普通税	-	-	-
震災復興特別交付税	3	0.0	-	-	目的税	5,227	0.1	-
(一般財源計)	20,461,860	66.4	19,307,292	99.8	法定目的税	5,227	0.1	-
交通安全対策特別交付金	13,476	0.0	13,476	0.1	入湯税	5,227	0.1	-
分担金・負担金	320,186	1.0	-	-	事業所税	-	-	-
使用料	489,903	1.6	11,833	0.1	都市計画税	-	-	-
手数料	301,903	1.0	-	-	水利地益税等	-	-	-
国庫支出金	2,120,912	6.9	-	-	法定外目的税	-	-	-
国有提供交付金(特別区財調交付金)	-	-	-	-	旧法による税	-	-	-
都道府県支出金	1,846,940	6.0	-	-	合計	7,578,362	100.0	68,447
財産収入	92,092	0.3	-	-				
寄附金	16,438	0.1	-	-				
繰入金	307,646	1.0	-	-				
繰越金	2,170,347	7.0	-	-				
諸収入	733,011	2.4	6,911	0.0				
地方債	1,932,500	6.3	-	-				
うち減収補填債(特例分)	-	-	-	-				
うち臨時財政対策債	900,000	2.9	-	-				
歳入合計	30,807,214	100.0	19,339,512	100.0				

区分		平成25年度		平成24年度	
徴収率	現・計	98.8	94.3	98.6	94.4
(%)	年	98.9	96.0	98.9	96.0
		98.5	92.4	98.2	92.6

公営事業等への繰出		国民健康保険事業会計の状況	
合計	3,551,514	実質収支	222,949
病院	631,931	再差引収支	109,018
下水道	231,533	加入世帯数(世帯)	10,026
上水道	28,907	被保険者数(人)	17,322
介護サービス	10,905	被保険者	94
国民健康保険	517,678	1人当り	98
その他	2,130,560	保険税(料)収入額	337
		国庫支出金	98
		保険給付費	337

(注釈)  
 普通建設事業費の補助事業費には受託事業費のうちの補助事業費を含み、  
 単独事業費には同級他団体施行事業負担金及び受託事業費のうちの単独事業費を含む。

歳入の状況(単位:千円・%)					
目的別歳入の状況(単位:千円・%)					
区分	決算額(A)	構成比	(A)のうち普通建設事業費	(A)のうち充当一般財源等	
議会費	306,263	1.1	12,915	306,263	
総務費	4,887,964	16.9	854,278	3,337,595	
民生費	8,841,586	30.6	606,591	5,338,497	
衛生費	2,848,120	9.9	499,868	2,344,520	
労働費	22,554	0.1	-	7,008	
農林水産業費	1,549,791	5.4	671,711	835,193	
商工費	284,651	1.0	-	191,199	
土木費	2,042,177	7.1	1,195,330	1,467,334	
消防費	1,066,206	3.7	24,463	1,046,275	
教育費	4,060,891	14.1	725,038	3,136,347	
災害復旧費	31,925	0.1	-	5,389	
公債費	2,952,051	10.2	-	2,834,278	
諸支出費	6,170	0.0	-	6,170	
前年度繰上充用金	-	-	-	-	
歳出合計	28,900,349	100.0	4,590,194	20,856,068	

性質別歳入の状況(単位:千円・%)					
区分	決算額	構成比	充当一般財源等	経常経費充当一般財源等	経常収支比率
義務的経費計	11,749,403	40.7	9,206,914	9,194,847	45.4
人件費	5,092,162	17.6	4,784,727	4,772,660	23.6
うち職員給	3,302,451	11.4	3,012,444	-	-
扶助費	3,705,190	12.8	1,587,909	1,587,909	7.8
公債費	2,952,051	10.2	2,834,278	2,834,278	14.0
元利償還金	2,952,051	10.2	2,834,278	2,834,278	14.0
内 うち元金	2,602,991	9.0	2,485,218	2,485,218	12.3
訳 うち利子	349,060	1.2	349,060	349,060	1.7
一時借入金利子	-	-	-	-	-
その他の経費	12,528,827	43.4	9,843,500	8,236,308	40.7
物件費	4,615,602	16.0	3,273,940	3,123,745	15.4
維持補修費	396,098	1.4	363,426	363,426	1.8
補助費等	3,401,246	11.8	3,022,621	2,464,820	12.2
うち一部事務組合負担金	1,291,859	4.5	1,247,588	1,169,393	5.8
繰出金	2,879,771	10.0	2,530,150	2,282,767	11.3
積立金	1,163,560	4.0	600,813	-	-
投資・出資金・貸付金	72,550	0.3	52,550	1,550	0.0
前年度繰上充用金	-	-	-	-	-
投資的経費計	4,622,119	16.0	1,805,654	-	-
うち人件費	44,676	0.2	44,676	-	-
普通建設事業費	4,590,194	15.9	1,800,265	-	-
うち補助	1,000,180	3.5	48,475	-	-
うち単独	3,323,726	11.5	1,569,900	-	-
災害復旧事業費	31,925	0.1	5,389	-	-
失業対策事業費	-	-	-	-	-
歳出合計	28,900,349	100.0	20,856,068	-	-

(2)各会計、関係団体の財政状況及び健全化判断比率（市町村）

平成25年度 香川県三豊市

一般会計等の財政状況(単位:百万円)

会計名	歳入	歳出	形式収支	実質収支	他会計等からの繰入金	地方債現在高	備考
1 一般会計	30,815	28,909	1,907	1,107	308	25,399	
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
31							
32							
33							
34							
35							
36							
37							
38							
39							
40							
41							
42							
43							
44							
45							
46							
47							
48							
49							
50							
51							
52							
53							
54							
55							
56							
57							
58							
59							
60							
61							
62							
63							
64							
65							
66							
67							
68							
69							
70							
71							
72							
73							
74							
75							
76							
77							
78							
79							
80							
81							
82							
83							
84							
85							
86							
87							
88							
89							
90							
91							
92							
93							
94							
95							
96							
97							
98							
99							
100							
101							
102							
103							
104							
105							
106							
107							
108							
109							
110							
111							
112							
113							
114							
115							
116							
117							
118							
119							
120							
121							
122							
123							
124							
125							
126							
127							
128							
129							
130							
131							
132							
133							
134							
135							
136							
137							
138							
139							
140							
141							
142							
143							
144							
145							
146							
147							
148							
149							
150							
151							
152							
153							
154							
155							
156							
157							
158							
159							
160							
161							
162							
163							
164							
165							
166							
167							
168							
169							
170							
171							
172							
173							
174							
175							
176							
177							
178							
179							
180							
181							
182							
183							
184							
185							
186							
187							
188							
189							
190							
191							
192							
193							
194							
195							
196							
197							
198							
199							
200							
201							
202							
203							
204							
205							
206							
207							
208							
209							
210							
211							
212							
213							
214							
215							
216							
217							
218							
219							
220							
221							
222							
223							
224							
225							
226							
227							
228							
229							
230							
231							
232							
233							
234							
235							
236							
237							
238							
239							
240							
241							
242							
243							
244							
245							
246							
247							
248							
249							
250							
251							
252							
253							
254							
255							
256							
257							
258							
259							
260							
261							
262							
263							
264							
265							
266							
267							
268							
269							
270							
271							
272							
273							
274							
275							
276							
277							
278							
279							
280							
281							
282							
283							
284							
285							
286							
287							
288							
289							
290							
291							
292							
293							
294							
295							
296							
297							
298							

### (3) 市町村財政比較分析表(普通会計決算)

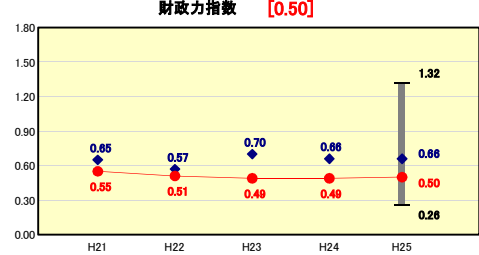
人口	69,437人 (H26.1.1現在)	実質赤字比率	- %
うち日本人	68,871人 (H26.1.1現在)	連続実質赤字比率	- %
面積	222.66 km <sup>2</sup>	実質公債費比率	7.1 %
歳入総額	30,807,214千円	将来負担比率	- %
歳出総額	28,900,349千円	市町村類型	H21 II-O H22 II-O H23 II-O
実質収支	1,107,178千円	(年度毎)	H24 II-O H25 II-O
標準財政規模	20,654,046千円		
地方債現在高	25,399,302千円		

● 当該団体値  
◆ 類似団体内平均値  
T 類似団体内の最大値及び最小値

※市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。  
 ※平成26年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率及び将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。  
 ※充当可能財源等が将来負担額を上回っている団体については、将来負担比率のグラフを表記しない。  
 ※類似団体内平均値は、充当可能財源等が将来負担額を上回っている団体を含めた加重平均であるため、最小値を下回ることがある。  
 ※「人件費・物件費等の状況」の決算額は、人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし、人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。  
 ※住民基本台帳関係年報の調査基準日変更に伴い、平成25年度の住民基本台帳人口については、平成26年1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口を記載している。

#### 財政力

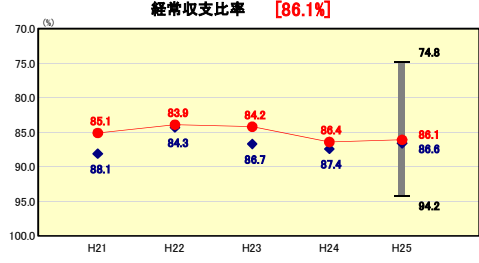
類似団体内順位 29/40 全国平均 0.49 香川県平均 0.55



財政力指数の分析欄  
 7町合併により発足した三豊市は旧町時代から自主財源に乏しく、合併後も財政基盤は町レベルに等しい。そのため、平成24年度より0.01ポイント増であるが、類似団体平均を下回っている。今後は引き続き企業誘致や産業振興施策により、主要な自主財源である市税の収入確保を図るとともに、歳出全般にわたる削減により、財政基盤の強化に努める。

#### 財政構造の弾力性

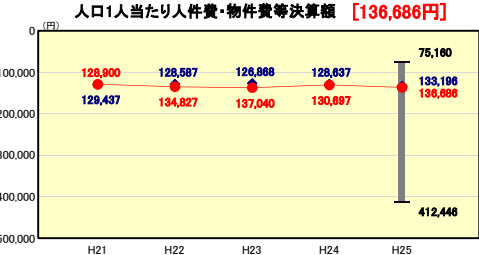
類似団体内順位 17/40 全国平均 90.2 香川県平均 85.2



経常収支比率の分析欄  
 平成24年度より0.3ポイント改善し、類似団体平均を下回っている。義務的経費である人件費については、定員適正化計画の推進により、毎年減少している。公債費についても、交付税措置のある有利な市債に絞った発行を原則としている。今後の全ての事務事業において事業評価を実施し、優先度の低い事業については計画的に廃止・縮小を進めるなど、経常経費の削減に努める。

#### 人件費・物件費等の状況

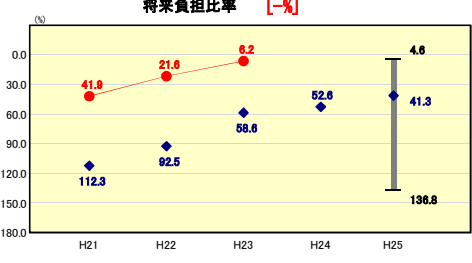
類似団体内順位 28/40 全国平均 116,298 香川県平均 110,862



人口1人当たり人件費・物件費等決算額の分析欄  
 平成24年度と比べ5,989円の増額となり、類似団体平均を上回っている。事務事業評価等による経常経費の削減に努め、人件費・物件費ともに削減に努める。

#### 将来負担の状況

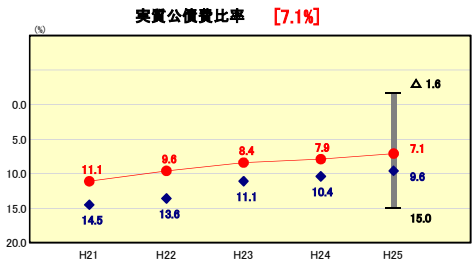
類似団体内順位 1/40 全国平均 51.0 香川県平均 41.3



将来負担比率の分析欄  
 平成24年度と同じく、0%を下回り、類似団体平均を大きく下回っている。主な要因としては、地方債残高の減額や債務負担行為に基づく支出予定額の減額、財政調整基金等への積立による充当可能基金の増額などが挙げられる。

#### 公債費負担の状況

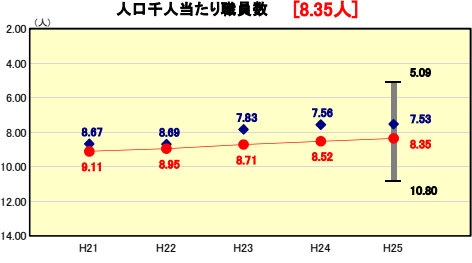
類似団体内順位 8/40 全国平均 8.6 香川県平均 9.3



実質公債費比率の分析欄  
 平成24年度より0.8ポイント改善されており、類似団体平均を下回っている。主な要因としては、元利償還金の減額や、災害復旧費等に係る基準財政需要額の増額が挙げられる。今後も交付税措置のある有利な市債に絞った発行を原則として、健全財政に努める。

#### 定員管理の状況

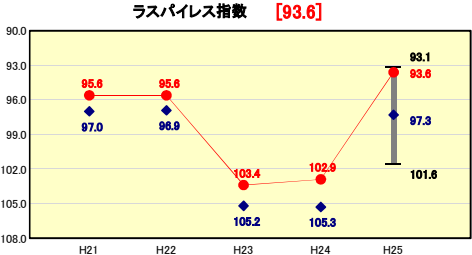
類似団体内順位 29/40 全国平均 8.96 香川県平均 7.14



人口千人当たり職員数の分析欄  
 類似団体平均より多くなっているが、平成24年度より人口千人当たり0.17人の減少となった。定員適正化計画に基づき、企業会計も含めた職員数を平成27年度末には人口の1%とすることを目標とし、機構改革や事務事業の見直しによる適材適所の配置を行うことにより、さらなる職員数の削減に努める。

#### 給与水準 (国との比較)

類似団体内順位 4/40 全国市平均 98.6 全国町村平均 95.6



ラスパイルズ指数の分析欄  
 国家公務員給与削減措置法が終了(H26.3.31)したため、前年を大きく下回っている。また、臨時特例による給料の減額措置(H25.10.1～H26.6.30)を実施していたことから、全国市平均をも大きく下回っている。今後も近隣自治体や、類似団体の給与水準を比較しながら、適正な給与水準となるよう努める。

# (4)-1 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

平成25年度

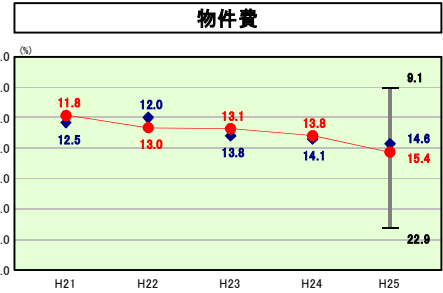
香川県三豊市

## 経常収支比率の分析

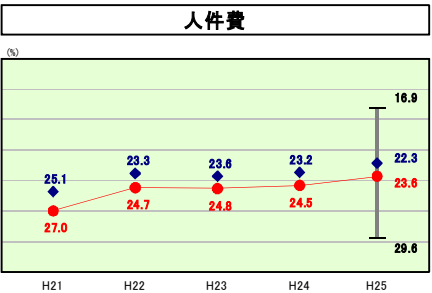
人口	69,437人	(H26.1.1現在)	実収赤字比率	-	%
うち日本人	68,871人	(H26.1.1現在)	運給実収赤字比率	-	%
面積	222.66	km <sup>2</sup>	実収公債費比率	7.1	%
歳入総額	30,807,214	千円	将来負担比率	-	%
歳出総額	28,900,349	千円	市町村類型	H21 II-O H22 II-O H23 II-O	
実収収支	1,107,178	千円	(年度毎)	H24 II-O H25 II-O	
標準財政規模	20,654,046	千円			

● 当該団体値  
◆ 類似団体内平均値  
T 類似団体内の最大値及び最小値

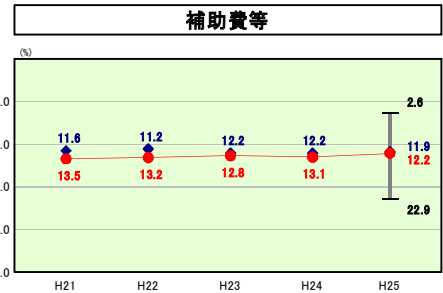
※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。  
※ 住民基本台帳関係年報の調査基準日変更に伴い、平成25年度の住民基本台帳人口については、平成26年1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口を記載している。



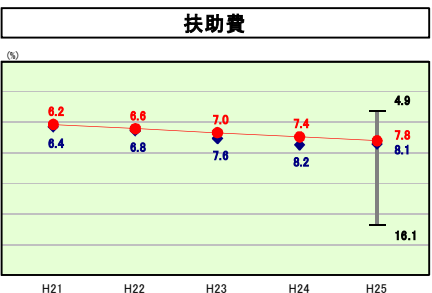
**物件費の分析**  
平成24年度より1.6ポイントの増加となり、類似団体平均より高い水準となった。要因として、ごみ処理委託料等の委託料の増加によるものである。事務事業評価に基づき、維持管理費等についても前年度を踏襲するのではなく、再度点検と検討を行っていく。



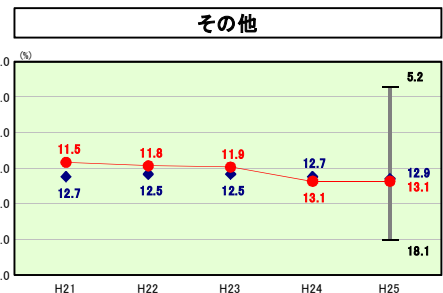
**人件費の分析**  
23.6%と類似団体平均より高い水準にあるものの、平成24年度より0.9ポイントの減少となった。主な要因は職員数の減少によるものである。合併以来、定員適正化計画の推進に伴う職員数の減少により、職員給は毎年減少しており、今後も削減を図っていく。



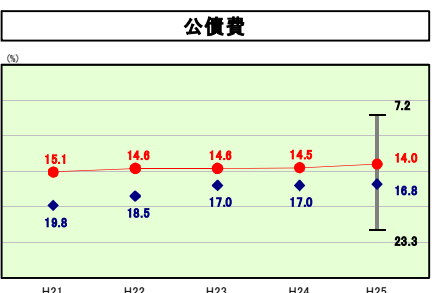
**補助費等の分析**  
平成24年度より0.9ポイントの減の12.2%となったが、類似団体平均より高い水準にある。今後は全庁あげての積極的な削減に取り組み、市単独の補助金等について見直しを行う。



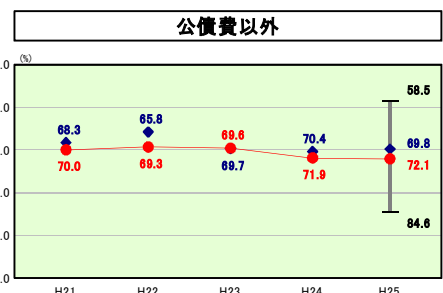
**扶助費の分析**  
7.8%と類似団体平均より低い水準にあるものの、平成24年度より0.4ポイントの増加となった。要因としては、生活保護費や障害者福祉扶助費の増額が挙げられる。今後は市単独事業について見直しを行う。



**その他の分析**  
平成24年度と同ポイントの13.1%となり、類似団体平均より高い水準となった。今後は税収を主な財源とする普通会計の負担額を減らしていき、経常経費の削減に努める。



**公債費の分析**  
14.0%と類似団体平均より低い水準にあり、平成24年度より0.5ポイントの減少となった。今後は交付税措置のある有利な市債に絞った発行を原則とし、健全な財政運営に努める。



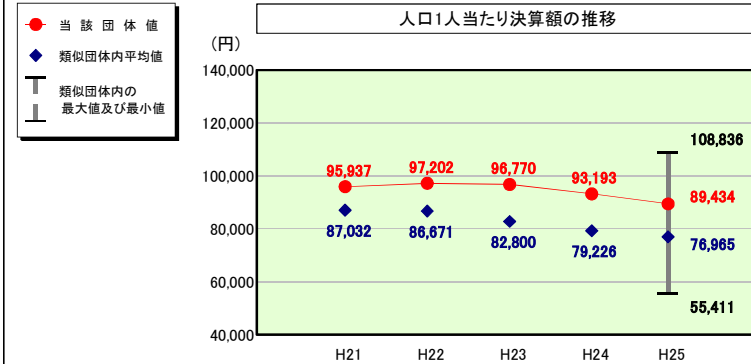
**公債費以外の分析**  
平成24年度より0.2ポイントの増加となり、類似団体平均より高い水準となった。主な要因としては、扶助費や物件費の増額が挙げられる。事務事業評価等による経常経費の削減に努め、経常収支比率の減少を目指す。

## (4)-2 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

平成25年度

香川県三豊市

### 人件費及び人件費に準ずる費用の分析



### 人件費及び人件費に準ずる費用

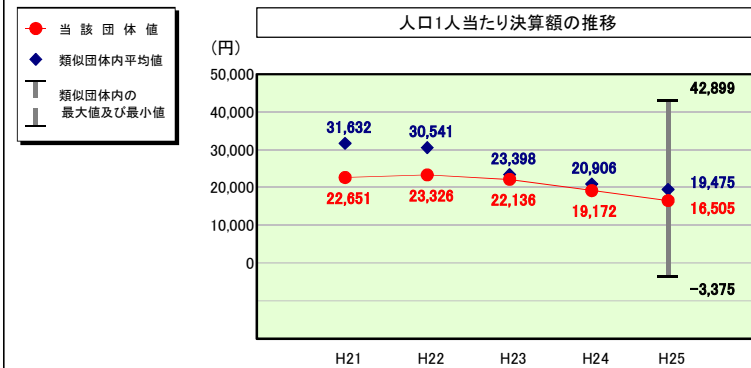
	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		
		当該団体(円)	類似団体平均(円)	対比(%)
人件費	5,092,162	73,335	65,478	12.0
賃金(物件費)	853,786	12,296	5,891	108.7
一部事務組合負担金(補助費等)	718,835	10,352	8,462	22.3
公営企業(法適)等に対する繰出し(補助費等)	-	-	902	-
公営企業(法適)等に対する繰出し(投資及び出資金・貸付金)	-	-	-	-
公営企業(法非適)等に対する繰出し(繰出金)	158,063	2,276	2,295	▲ 0.8
事業費支弁に係る職員の人件費(投資的経費)	44,676	643	1,610	▲ 60.1
▲退職金	▲ 657,506	▲ 9,469	▲ 7,674	23.4
合計	6,210,016	89,434	76,965	16.2

### 参考

	当該団体	類似団体平均	対比(差引)
人口1,000人当たり職員数(人)	8.35	7.53	0.82
ラスパイレズ指数	93.6	97.3	▲ 3.7

(注) 住民基本台帳関係年報の調査基準日変更に伴い、平成25年度の住民基本台帳人口については、平成26年1月1日現在の住民基本台帳に記載されている人口を記載している。

### 公債費及び公債費に準ずる費用の分析

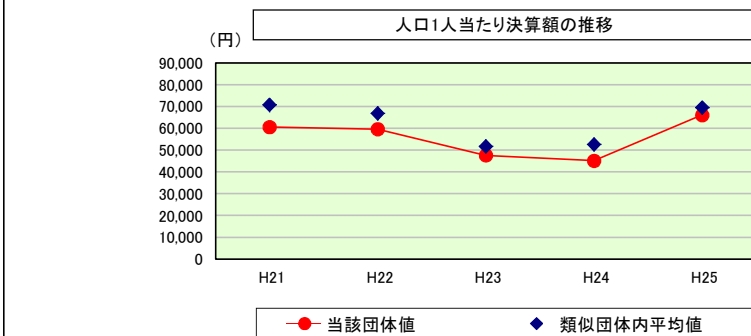


### 公債費及び公債費に準ずる費用(実質公債費比率の構成要素)

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		
		当該団体(円)	類似団体平均(円)	対比(%)
元利償還金の額 (繰上償還額等を除く)	2,952,051	42,514	44,941	▲ 5.4
積立不足額を考慮して算定した額	-	-	-	-
満期一括償還地方債の一年当たりの元金償還金に相当するもの (年度割相当額)	-	-	79	-
公営企業に要する経費の財源とする地方債の償還の財源に 充てたと認められる繰入金	226,666	3,264	13,887	▲ 76.5
一部事務組合等の起こした地方債に充てたと認められる 補助金又は負担金	71,287	1,027	3,159	▲ 67.5
公債費に準ずる債務負担行為に係るもの	39,183	564	1,648	▲ 65.8
一時借入金利息 (同一団体における会計間の現金運用に係る利子は除く)	-	-	3	-
▲特定財源の額	▲ 118,418	▲ 1,705	▲ 4,297	▲ 60.3
▲地方債に係る元利償還金及び準元利償還金に要する経費として 普通交付税の額の算定に用いる基準財政需要額に算入された額	▲ 2,024,678	▲ 29,158	▲ 39,944	▲ 27.0
合計	1,146,091	16,505	19,475	▲ 15.3

※平成26年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

### (参考) 普通建設事業費の分析



### 普通建設事業費

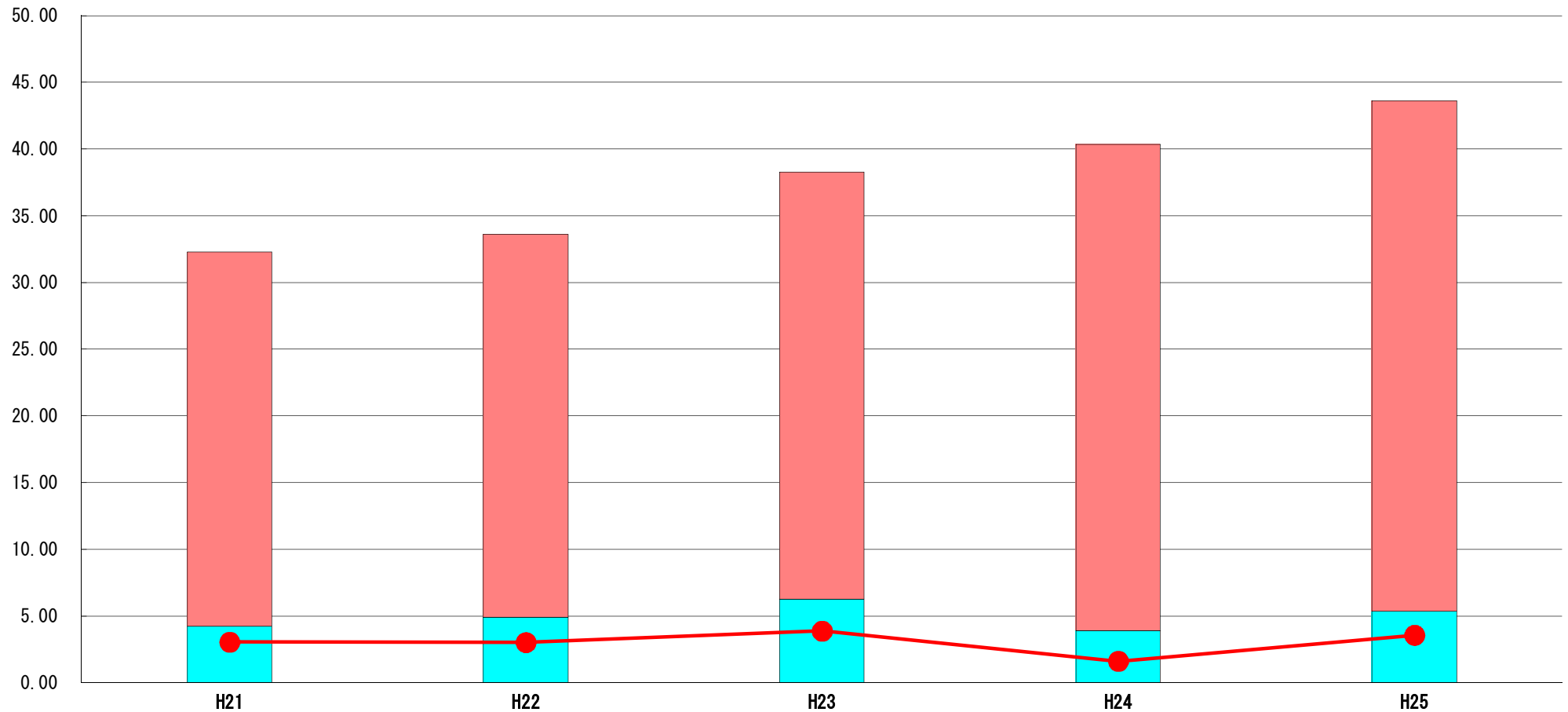
	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額				
		当該団体(円)	増減率(%) (A)	類似団体平均(円)	増減率(%) (B)	(A)-(B)
H21	4,301,574	60,636	63.7	70,789	23.4	40.3
うち単独分	3,242,724	45,710	62.8	40,880	25.2	37.6
H22	4,192,101	59,582	▲ 1.7	66,876	▲ 5.5	3.8
うち単独分	3,154,074	44,829	▲ 1.9	36,310	▲ 11.2	9.3
H23	3,322,150	47,587	▲ 20.1	51,704	▲ 22.7	2.6
うち単独分	2,494,575	35,733	▲ 20.3	26,896	▲ 25.9	5.6
H24	3,151,461	45,149	▲ 5.1	52,678	1.9	▲ 7.0
うち単独分	2,119,225	30,361	▲ 15.0	30,185	12.2	▲ 27.2
H25	4,590,194	66,106	46.4	69,560	32.0	14.4
うち単独分	3,323,726	47,867	57.7	35,305	17.0	40.7
過去5年間平均	3,911,496	55,812	16.6	62,321	5.8	10.8
うち単独分	2,866,865	40,900	16.7	33,915	3.5	13.2

# (5) 実質収支比率等に係る経年分析（市町村）

平成25年度

香川県三豊市

標準財政規模比（%）



標準財政規模比（%）

区分	年度	H21	H22	H23	H24	H25
<span style="color: red;">■</span> 財政調整基金残高		28.04	28.73	32.01	36.45	38.28
<span style="color: cyan;">■</span> 実質収支額		4.24	4.89	6.26	3.88	5.36
<span style="color: red;">●</span> 実質単年度収支		3.05	3.02	3.88	1.61	3.56

### 分析欄

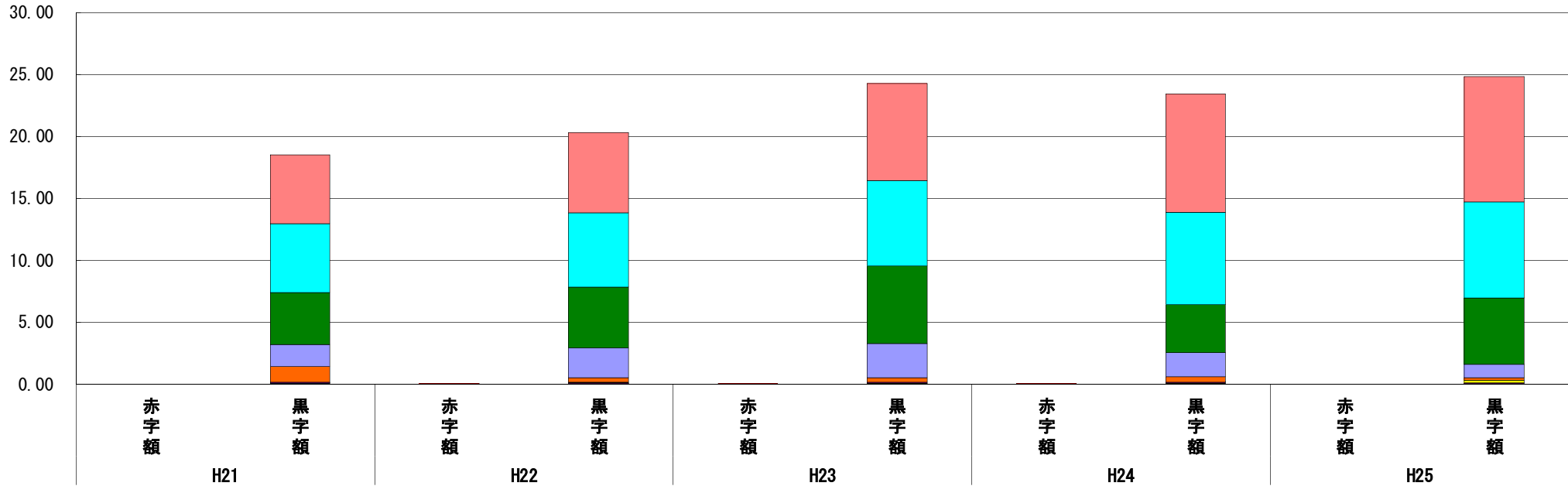
実質収支比率は5.36%となり、平成24年度より1.48ポイントの増加となった。  
 また、平成24年度決算剰余金の積立などにより、財政調整基金残高は平成25年度末で77,907百万円となり、平成24年度末残高より426百万円の増額となった。

## (6) 連結実質赤字比率に係る赤字・黒字の構成分析（市町村）

平成25年度

香川県三豊市

標準財政規模比（％）



標準財政規模比（％）

会計	年度	H21	H22	H23	H24	H25
水道事業会計		5.59	6.52	7.84	9.56	10.12
病院事業会計		5.54	5.97	6.88	7.44	7.75
一般会計		4.23	4.92	6.28	3.89	5.36
国民健康保険事業特別会計		1.75	2.41	2.79	1.95	1.08
介護保険事業特別会計		1.28	0.38	0.35	0.44	0.23
後期高齢者医療事業特別会計		0.01	0.01	0.01	0.01	0.19
国民健康保険診療所事業特別会計		0.05	0.08	0.08	0.09	0.07
介護サービス事業特別会計		0.02	0.02	0.02	0.03	0.02
その他会計（赤字）		-	▲ 0.03	▲ 0.02	▲ 0.01	-
その他会計（黒字）		0.06	0.02	0.03	0.02	0.01

### 分析欄

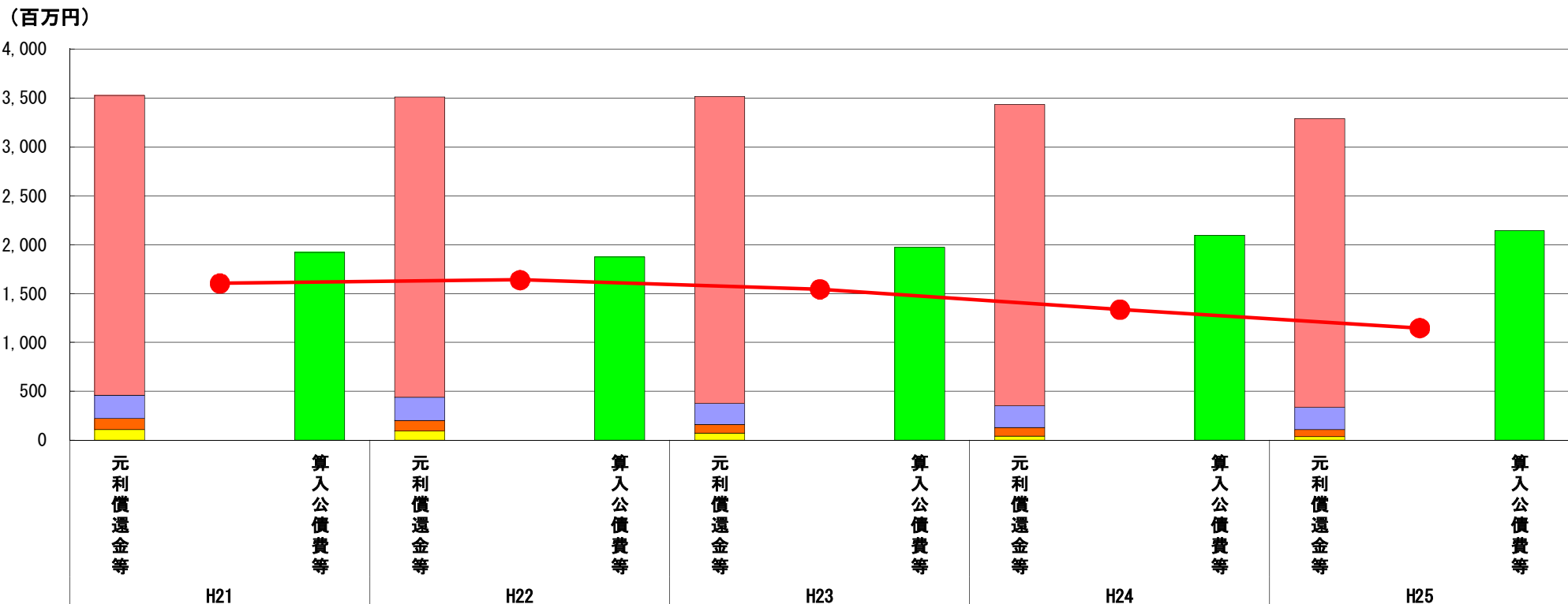
すべての会計で実質収支（資金不足額・剰余額）については黒字を保っている。  
 水道事業会計及び病院事業会計の資金剰余額が増加した要因は、現金及び預金の増加に伴う流動資産の増加によるものである。  
 国民健康保険事業や介護保険事業においては、近年高齢化が進み、給付費が増加傾向にあることから、保険料の設定の見直しを検討するなど、健全な財政運営に努める。



# (7) 実質公債費比率（分子）の構造（市町村）

平成25年度

香川県三豊市



(百万円)

分子の構造		年度	H21	H22	H23	H24	H25
元利償還金等(A)	元利償還金		3,063	3,073	3,138	3,083	2,952
	減債基金積立不足算定額		-	-	-	-	-
	満期一括償還地方債に係る年度割相当額		-	-	-	-	-
	公営企業債の元利償還金に対する繰入金		240	240	220	219	227
	組合等が起こした地方債の元利償還金に対する負担金等		111	106	87	89	71
	債務負担行為に基づく支出額		110	94	71	43	39
	一時借入金の利子		-	-	-	-	-
算入公債費等(B)	算入公債費等		1,919	1,873	1,971	2,096	2,142
(A) - (B)	実質公債費比率の分子		1,605	1,640	1,545	1,338	1,147

**分析欄**

○元利償還金等  
市債の償還が一部終了したことにより、元利償還金が平成24年度より131百万円減少した。債務負担行為に基づく支出額が平成24年度より28百万円減少したのは、土地改良事業等の元利補給に係る債務負担行為が一部終了したことによる。

○算入公債費等  
臨時財政対策債及び合併特例債の償還額の増加等に伴い、算入公債費は平成24年度より46百万円増加している。今後も交付税算入率の高い有利な地方債を活用していくこととする。

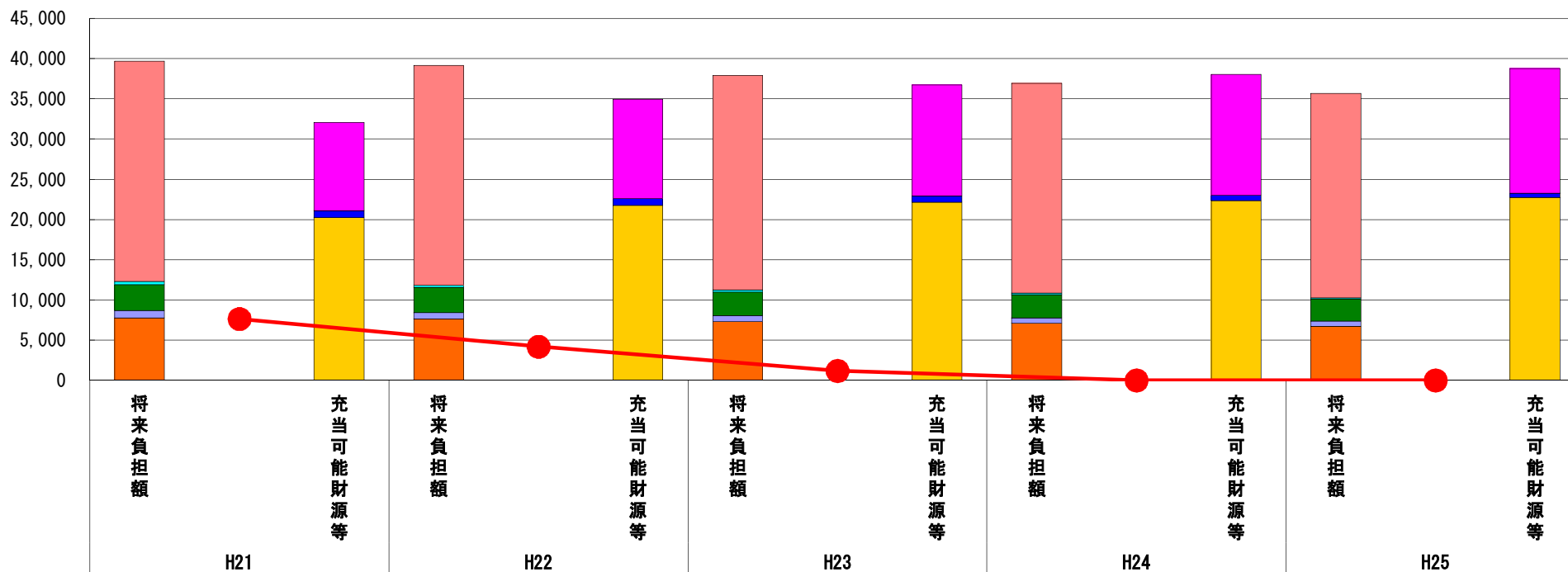
※平成26年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

## (8) 将来負担比率（分子）の構造（市町村）

平成25年度

香川県三豊市

(百万円)



(百万円)

分子の構造		年度	H21	H22	H23	H24	H25
将来負担額 (A)	一般会計に係る地方債の現在高		27,421	27,329	26,670	26,070	25,399
	債務負担行為に基づく支出予定額		389	306	236	198	163
	公営企業債等繰入見込額		3,216	3,164	2,994	2,874	2,738
	組合等負担等見込額		924	782	728	695	674
	退職手当負担見込額		7,755	7,605	7,270	7,092	6,677
	設立法人等の負債額等負担見込額		-	-	-	-	-
	連結実質赤字額		-	-	-	-	-
	組合等連結実質赤字額負担見込額		-	-	-	-	-
充当可能財源等 (B)	充当可能基金		10,946	12,365	13,764	15,013	15,490
	充当可能特定歳入		857	846	798	681	565
	基準財政需要額算入見込額		20,257	21,777	22,157	22,333	22,719
(A) - (B)	将来負担比率の分子		7,645	4,200	1,179	▲ 1,098	▲ 3,122

### 分析欄

○将来負担額  
 基礎的財政収支の黒字を堅持したことにより、地方債残高は平成24年度より671百万円減少している。  
 土地改良事業等の元利補給に係る債務負担行為期間の終了などにより、債務負担行為に基づく支出予定額は平成24年度より35百万円減少している。  
 職員数の減少により、退職手当負担見込額は平成24年度より415百万円減少している。

○充当可能財源等  
 財政調整基金への積立などにより、充当可能基金は平成24年度より477百万円増加している。

今後、大型建設事業に合併特例債等を活用するため、地方債残高が増加し、比率が上昇することが予想されるが、平成27年度に第2次行政改革大綱を策定し、健全な財政運営に努める。

※平成26年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。